

「神川小学校の銭太鼓伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立神川小学校

2 学年・人数

5・6年生（計18人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年9月～10月 総合的な学習の時間（本校体育館）

令和4年11月10日（木） 学習発表会リハーサル（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和4年11月12日（土） 本校学習発表会（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

銭太鼓（ぜにだいこ）

(2) 由来

約200年前から、鳥浜地区の諏訪神社秋祭りに翌年の豊作を祈願し、踊り続けられてきた。

(3) 構成等

踊りは長さ30cmの竹筒の中に硬貨を入れ、この竹筒2本を持って座って踊る。曲に合わせて、三味線や太鼓で踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

これまで銭太鼓を伝承している町内の文化協会の方が、本校の5・6年生に指導及び伝承してくれていた。ただ指導者の高齢化や昨今の感染症対策の関係で、指導に来られない場合が多くなったため、昨年度5年生で覚えた内容を、今年度の6年生が5年生へ伝承する形をとるようになっている。指導者には隔年で指導してもらおう方向で、地域と学校が連携をとって行っている。このことから銭太鼓が本校に馴染んでいることがうかがえる。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

上の5で記されているとおり、学校と地域、そして文化協会の方が連携をしっかりとってきた。ただ伝承者も高齢となっており、児童同士の伝承（児童同士で教え合う新しい形）の流れができています。文化協会の方には、近すぎず遠すぎず、見守り的な形で協力をお願いしている。

7 取組の様子（発表当日の様子）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ 昨年度自分たちが学んだ伝統を5年生に教えることができよかった。
- ・ 伝統である銭太鼓を、練習の成果を生かして発表ができてよかった。
- ・ 6年生と一緒に発表ができてうれしかった。
- ・ 6年生が優しく教えて、覚えることができた。
- ・ 来年度は、自分たちがこの銭太鼓を引き継いでいこうと思った。

【保護者】

- ・ 5・6年生の銭太鼓は、元気があり、動きがしっかりしていて感動しました。ありがとうございました。
- ・ 銭太鼓、とても素晴らしかった。
- ・ 毎年伝統である「銭太鼓」を5・6年生が発表してくれてありがたい。今後も大切にしてほしい。

【教職員】

- ・ 練習は時間を要するが、今後も銭太鼓を大切に伝統を引き継いでいきたい。
- ・ リズムを刻むところや、音を合わせるところが難しく時間がかかった。来年は今の5年生が6年生となり、新5年生に教えていってほしい。
- ・ 地域の中からも指導者をお願いして、銭太鼓をするだけでなく、銭太鼓に対する思いや願いを語っていただき、それも伝統として繋いでいきたい。